

## 第121回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動の評価

本日、第120回火山噴火予知連絡会（平成23年6月7日）以降の全国の火山活動について検討を行い、結果を以下のとおり取りまとめました。

### ○ 全国の主な火山活動

今期間（平成23年6月7日～10月11日）、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、桜島及び諏訪之瀬島で噴火が発生しました。また、三宅島ではやや多量の火山ガス放出が継続しました。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕については、別に「霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果」として取りまとめました。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕昭和火口では、今期間も活発な噴火活動が継続しました。今期間の噴火による噴煙の最高高度は火口縁上2,600mで、大きな噴石が最大3合目まで達しました。また、火口周辺にとどまるごく小規模な火砕流が3回発生しました。

地殻変動観測では、始良カルデラ深部の膨張が引き続き観測されています。引き続き活発な噴火活動が継続する可能性がありますので、火山活動の推移に注意する必要があります。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。

三宅島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕では、やや多量の火山ガス放出が当分継続すると考えられます。引き続き、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

【本件に関する問い合わせ先】  
気象庁 地震火山部 火山課  
電話：03-3284-1749

## 各地方の主な活火山の火山活動評価

### 1. 北海道地方

#### ① アトサヌプリ [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

#### ② 雌阿寒岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

#### ③ 丸山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。8月下旬に丸山周辺で一時的に地震増加が見られましたが、その後地震活動は消長を繰り返しながらもやや活発な状態が続いています。

#### ④ 大雪山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

#### ⑤ 十勝岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・地震活動、噴煙活動ともに概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。2006年からみられている62-2火口直下浅部の膨張を示す地殻変動は現在も続いており、火山活動の推移に注意が必要です。

#### ⑥ 樽前山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・6月以降、火山性地震がやや増加していますが、振幅はいずれも小さく、火山性微動は観測されていません。噴煙活動は概ね静穏に経過しており、地殻変動にも特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・A火口、B噴気孔群及びH亀裂では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意が必要です。

#### ⑦ 倶多楽 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

#### ⑧ 有珠山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

#### ⑨ 北海道駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

#### ⑩ 恵山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

## 2. 東北地方

### ① 岩木山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

### ② 秋田焼山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

### ③ 岩手山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

### ④ 秋田駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・女岳<sup>めだけ</sup>では、9月に200mの噴気を確認し、北東斜面及び北斜面で新たな地熱域が確認されました。
- ・地震活動及び地殻変動に特段の変化は認められません。
- ・ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

### ⑤ 鳥海山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

### ⑥ 栗駒山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

### ⑦ 蔵王山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

### ⑧ 吾妻山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・噴気活動はやや高い状態が続いています。
- ・2011年3月12日以降、大穴火口では、夜間に高感度カメラで明るく見える現象をたびたび観測しています。
- ・2011年6月に大穴火口内で新たに地熱の高い箇所が認められました。
- ・2011年10月4日、6日及び11日に火山性微動が発生しました。火山性微動の発生に先立って微小な傾斜変動が観測されましたが、火山性微動の発生前後で、表面現象及び地震活動に特段の変化は認められませんでした。
- ・火山性地震は少ない状況となっています。
- ・ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では火山ガスの噴出がみられるので警戒が必要です。また、風下側では、火山ガスに注意が必要です。

### ⑨ 安達太良山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火

の兆候は認められません。

⑩ 磐梯山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

### 3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

① 那須岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 日光白根山 [噴火予報(平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(3月11日)以降、周辺で地震活動が活発な状況となりましたが、その後地震活動は低下しつつも継続しています。
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 草津白根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・湯釜火口北側を中心として、ごく小規模な地震が群発することがありました。
- ・湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。山頂火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要です。

④ 浅間山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山性地震は、2010年4月以降やや少ない状態で推移しています。
- ・火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は、2010年3月以降やや少ない状態で推移しています。
- ・山体周辺のGPSによる地殻変動観測では、2009年秋頃から縮みの傾向がみられます。
- ・火山活動は2010年4月以降静穏な状態が続いていますが、山頂火口から500mの範囲では、火山灰噴出や火山ガス等に警戒が必要です。

⑤ 新潟焼山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 弥陀ヶ原 [噴火予報(平常)]

- ・10月5日に弥陀ヶ原の南東約7km付近でマグニチュード5.4と5.2(いずれも暫定値)の地震が発生するなど、地震活動が活発化しました。
- ・立山地獄谷では以前から熱活動が活発に継続しており、この付近では火山ガスに注意が必要です。

⑦ 焼岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(3月11日)以降、山頂直下から北麓～北西麓の浅い所で地震活動が活発な状況となりましたが、その後地震活動は低下してきています。
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

- ⑧ 乗鞍岳 [噴火予報(平常)]
- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑨ 御嶽山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑩ 白山 [噴火予報(平常)]
- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑪ 富士山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
- 東北地方太平洋沖地震(3月11日)の発生直後は山体周辺の地震活動はみられませんでした。3月15日に山頂の南南西約5km、深さ15kmを震源とする静岡県東部の地震(マグニチュード6.4(暫定値)、最大震度6強)が発生しました。それ以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震活動が活発な状況となりました。その後、地震活動は低下しつつも継続しています。
  - その他の観測データで浅部の異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。
- ⑫ 箱根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑬ 伊豆東部火山群 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
- 7月16日～19日及び9月18日～22日にかけて、地下7～10kmへのマグマの貫入に伴うと考えられる地震が多発し、地殻変動も観測されました。
  - この地域では同様な活動がこれまでも繰り返し発生し、震源の深さは概ね3～10kmの範囲に分布しています。2000年以降の活動は主に7km以深で発生していますが、今期間の2回の活動も主要な活動の深さは概ね7～10kmでした。
  - 周辺の体積ひずみ計や傾斜計の変化は、地震活動開始に半日程度先行して始まり、地震活動終了とともにほぼ活動開始前の状態に戻りました。GPSによる地殻変動観測では、9月の活動で若干の変化が認められました。
  - 低周波地震や火山性微動は観測されておらず、噴火の兆候は認められません。
- ⑭ 伊豆大島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
- GPSおよび体積ひずみ計による地殻変動観測では、2010年5月下旬から伸びがみられましたが、2011年1月から縮みの傾向がみられます。長期的には、地下深部へのマグマ注入によると考えられる島全体の膨張傾向が継続しています。
  - 火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑮ 新島 [噴火予報(平常)]
- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑯ 神津島 [噴火予報(平常)]
- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火

の兆候は認められません。

⑰ 三宅島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- ・今期間、噴火は発生しませんでした。
- ・火山性地震は、2010年9月以降少ない状態です。
- ・GPSによる地殻変動観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら現在も継続しています。一方、深部の膨張を示す地殻変動は続いています。
- ・二酸化硫黄放出量は緩やかな減少傾向ですが、1日あたり500から1,000トン程度のやや多量の放出が続いています。
- ・火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に対する警戒が引き続き必要です。風下にあたる地区では火山ガスに警戒が必要です。

⑱ 八丈島 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑲ 青ヶ島 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑳ 硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）]

- ・地震活動は2010年8月頃から比較的活発になっています。2006年8月からの島全体が隆起する地殻変動は、2011年1月末頃から隆起速度が増加し、現在も続いています。島内南北方向の伸びの傾向も継続しています。
- ・硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

21 福徳岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）]

- ・今期間は、変色水が確認されていませんが、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

#### 4. 九州地方・南西諸島

① 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）] ←平成23年6月20日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引き下げ、火口周辺警報を解除しました。

- ・中岳第一火口では、5月15日に確認されたごく小規模な噴火は、6月9日まで継続しました。
- ・6月9日には、湯だまり量は1割で、火口底中央部の噴気孔の一部から灰白色の噴煙が噴出し、火口縁上100mまで上がっていました。火口底の最高温度は約160℃で、

前回（5月15日）の約370℃に比べて低下しました。湯だまり量は6月12日に6割に増加し、8月25日には9割となりました。また、6月12日に湯だまり内に認められたごく小規模な土砂噴出はその後認められていません。9月15日15時55分頃、火山性微動の発生に伴い、湯だまり中央よりやや東側で濁りが確認されました。

- ・ 噴煙活動は低調で、白色の噴煙が火口縁上概ね200mで経過しました。
- ・ 孤立型微動は日別回数が0～8回と少ない状態で経過しました。
- ・ 火山性地震は少ない状態で経過しました。
- ・ 二酸化硫黄の一日あたりの放出量は、噴火継続中の6月6日と6月9日には700～900トンとやや多い状態でしたが、6月29日以降100～400トンと少ない状態で経過しました。
- ・ 火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では土砂や火山灰の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。
- ・ 南阿蘇村吉岡（中岳第一火口から西南西約6km）の噴気は噴出力がやや強く、引き続き噴気活動に注意が必要です。

#### ④ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

#### ⑤ 霧島山

##### 新燃岳 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

- ・ 4月18日の噴火以降、約2か月間噴火の発生はありませんでしたが、6月16日以降、噴火が7回発生しました。いずれの噴火でも大きな噴石の飛散や火砕流の発生は確認されませんでした。また、爆発的噴火は発生していません。
- ・ 傾斜計では、噴火に前駆して新燃岳側がわずかに隆起する変動が観測され、噴火により隆起以前の状態に戻ることが時々観測されています。この傾斜変動に伴って周期の短い火山性地震（BH型）が増加しました。
- ・ 火山性地震は7月以降多い状態で継続しました。地震のほとんどは周期の短い火山性地震（BH型）でした。
- ・ 噴火の発生に伴い振幅のやや大きな火山性微動が発生しました。また、8月31日の噴火に伴い、周期の長い火山性微動が連続的に発生しました。振幅の小さな火山性微動が時々発生しています。
- ・ 二酸化硫黄の平均放出量は、噴火翌日の6月24日と噴火継続中の9月1日、2日に実施した現地調査では1日あたり1,400～2,200トンと一時的に多い状態でした。それ以外の現地調査では1日あたり200～400トンと少ない状態でした。
- ・ 9月13日、22日に航空自衛隊の協力を得て行った上空からの調査では、火口内に蓄積された溶岩は、5月31日と比較して特段の変化はありませんでした。
- ・ GPS観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くのマグマだまりへのマグマの供給を示す変化が続いています。
- ・ 以上のように、新燃岳では、噴火を繰り返しており、引き続き、2月中旬以降発生した程度の爆発的噴火の可能性はあります。新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへのマグマの供給は続いており、今後、噴火活動が再び活発化する可能性があります。深部のマグマだまりから新燃岳へ多量のマグマが上昇すれば、今年1月下旬から2月上旬の本格的な噴火に匹敵する活動を再開することも考えられます。
- ・ 新燃岳火口から概ね3kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石

に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。噴火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に注意してください。

**御鉢 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]**

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

**⑥ 桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]**

- ・昭和火口の噴火活動は爆発的噴火を含む噴火の発生回数が6月45回、7月79回、8月142回、9月204回、10月35回（6日まで）で、合計505回と6月以降次第に活発化しています。今期間の噴火による噴煙の最高高度は火口縁上2,600mで、大きな噴石が最大3合目まで達しました。また、火口周辺にとどまるごく小規模な火砕流が3回発生しました。
- ・南岳山頂火口では、噴火は発生していません。
- ・2011年5～8月に、噴火により放出された火山灰量は84万トンでした。
- ・GPSや水管傾斜計等による地殻変動観測には大きな変化はありません。火山灰の放出量と地殻変動量から2010年11月頃より増加したマグマの供給量は、7月頃に一時的に減少したものの、その後増加しています。
- ・GPSによる地殻変動観測では始良カルデラ深部（鹿児島湾奥部）の膨張による長期的な変化が引き続き観測されています。
- ・以上のように、桜島直下へのマグマの供給量に大きな変化はなく、噴火活動は活発な状態が続いています。桜島へのマグマの供給量が増加した場合、更に噴火活動が活発化する可能性が考えられるため、火山活動の推移に注意する必要があります。
- ・昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

**⑦ 薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]**

- ・火山性地震は少ない状態で経過しました。
- ・白色の噴煙高度は火口縁上概ね100m以下（最高高度は800m）で経過しました。
- ・火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石に注意が必要です。

**⑧ 口永良部島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]**

- ・火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、GPS連続観測では、新岳を挟む基線で2010年9月ごろから伸びの傾向が続いています。
- ・新岳火口内では噴気活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。

**⑨ 諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]**

- ・御岳火口では、爆発的噴火を含む噴火が9月に2回に発生し、噴火活動は長期的には活発な状態が続いています。



- ・ 火山性地震は消長を繰り返しながら、やや多い状態で経過しました。火山性微動の継続時間は4月以降少ない状態で経過しましたが、8月末以降やや増加傾向です。
- ・ 今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石に注意が必要です。

---

注) 噴火警戒レベルは平成23年10月11日現在、29火山に導入している。

全国の活火山の噴火警報及び噴火予報発表状況

地方	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	雌阿寒岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年9月29日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年10月17日 噴火予報 (平常) 2008年11月17日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年12月16日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常)
	丸山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	大雪山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	十勝岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年12月16日 噴火予報 (レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	有珠山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年6月9日 噴火予報 (レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	恵山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
東北地方	岩木山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	秋田焼山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	岩手山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年10月27日 噴火予報 (レベル1、平常)
	鳥海山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	栗駒山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	蔵王山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	吾妻山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	安達太良山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	磐梯山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	日光白根山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	草津白根山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常) 切替
	浅間山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月3日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月7日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2010年4月15日 噴火予報 (レベル1、平常)
	新潟焼山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2011年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	弥陀ヶ原	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	焼岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2011年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	乗鞍岳	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	御嶽山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)

	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
関東・中部・伊豆・小笠原	白山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	富士山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	伊豆東部火山群	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	伊豆大島	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	新島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	神津島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	三宅島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年3月31日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	八丈島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	青ヶ島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	硫黄島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険)
	福徳岡ノ場	噴火警報(周辺海域警戒)	2007年12月1日 噴火警報(周辺海域警戒)
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	九重山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	阿蘇山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2011年5月16日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年6月20日 噴火予報(レベル1、平常)
	雲仙岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山(新燃岳)	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月22日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日 噴火予報(レベル1、平常) 2010年3月30日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月16日 噴火予報(レベル1、平常) 2010年5月6日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年1月26日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2011年1月31日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年2月1日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年3月22日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替
	霧島山(御鉢)	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年2月20日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年7月14日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年8月28日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月19日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年3月10日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月24日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2010年9月30日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年10月13日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州 地方 ・ 南 西 諸 島	口永良部島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注) 噴火警報及び噴火予報の発表履歴は、2007年12月1日以降のものを記載しています。

上記以外の活火山では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

地 方	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

\* 天頂山と雄阿寒岳は2011年6月7日に活火山として追加し、噴火予報（平常）を発表しました。

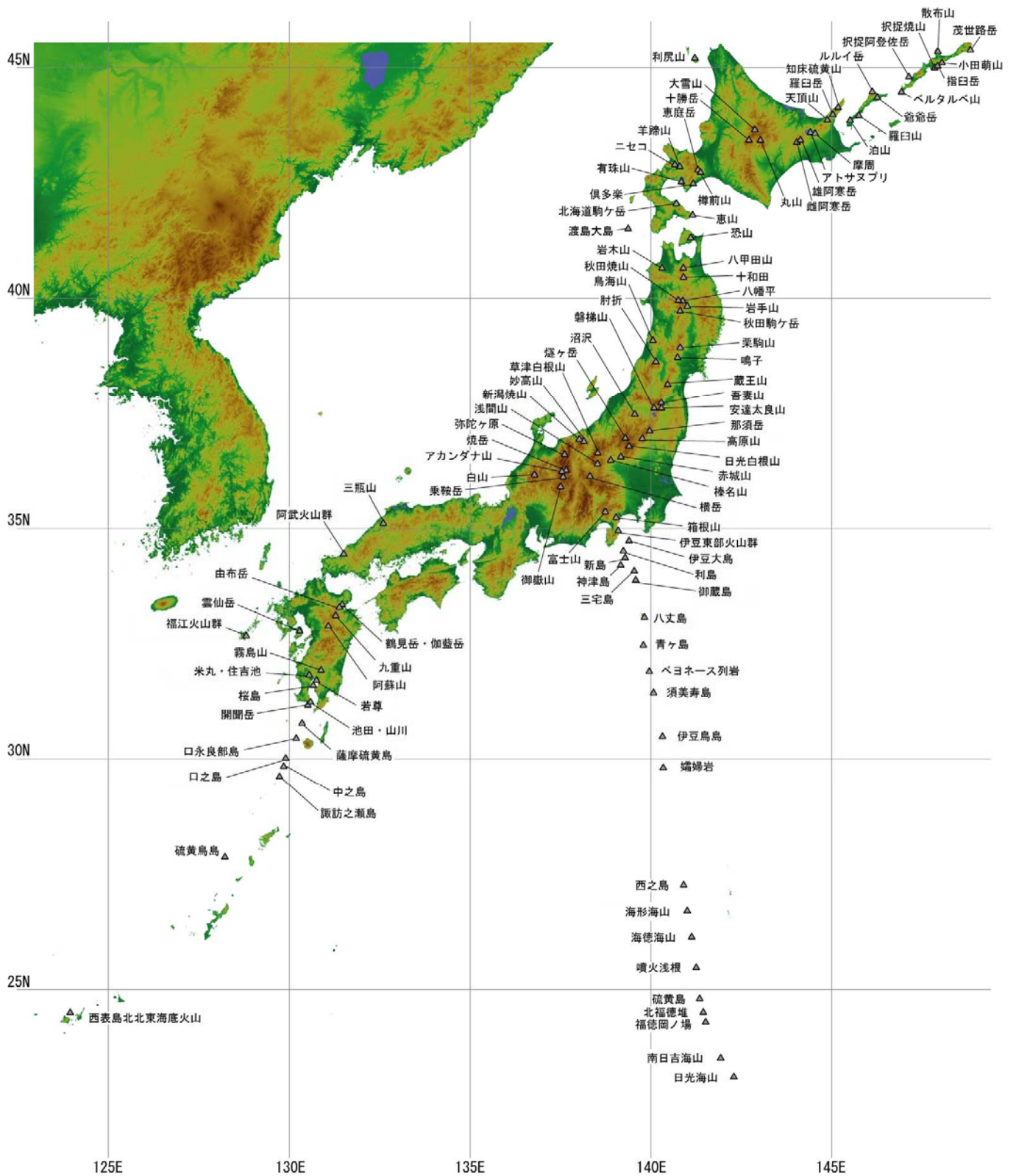


図 全国の活火山分布